

ツバメ通信

広報誌 7月号



7/10 毎年恒例の『七夕会』を開催いたしました。

準備は5月の早い段階から行い、立派な吹き流しを作ることが出来ました。

ホールに飾ると迫力満点「いやー大したもんだ」と、あちらからも、こちらからも歓声が上がりました。当日は、お一人お一人願い事を読みあげてもらいながら笹に飾りました。

他の方の願い事も「俺もそれだな」「あーそれでもいいな」など共有が出来、とても盛り上がりました。

昼食は七夕食で涼しげな素麺や豪華なプレートをみんなで頂きました。昔からなじみのある素麺あっという間に皆様完食されておりました。

介護職員 楠 正二



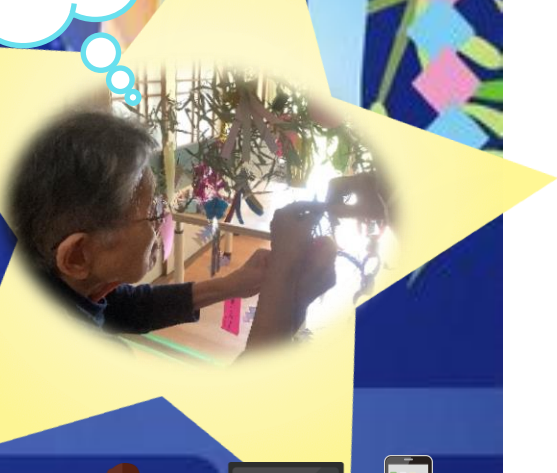
願い事
叶うかなー



立派だ
こと



ここだと
いいかなー



外れないよ
うにね!



心愛云
社会福祉法人
Harmony Cloud
ハーモニー中田



WEBで検索



こちらからGoogleマップで
確認いただけます。

ホームページ QR



職員のつぶやき・・・②

こんにちは。介護職員として勤務しています鍋島（なべしま）です。
皆さんは、『二度童子（にどわらし）』という言葉を知っていますか？
私は、ごく最近こう言った言葉がある事を知りました。東北地方では昔から、おじいちゃん、おばあちゃんになっていくとできないことが増えてきて、子供に戻ってしまったように感じるときに使ってきたようです。
歳相応の物忘れや認知症を発症したりと高齢により今まで出来ていたことが、少しずつ出来なくなってしまったりと色々な理由があるようです。
私は今、3歳の子供を育てていますが、介護をしていると時々、今かけた言葉は子供にも朝に同じことを言ったな？この言葉も昨日言ったな？と全く同じではないにしても、同じことを伝えている＝（イコール）同じ行動をしているということに気づきます。
子供は、これから出来ることが増えていき、手がかからなくなっていきます。
今は、出来なくても笑い話や良い思い出に変わるでしょう。ですが、高齢者の場合、体力的に出来ることが減っていき、家族の負担は増えて行く一方です。今まで出来ているイメージしかなかったことから、出来なくなっていく現実を見ると、「なんで出来ないの？」「もっと自分でやってよ！」イライラしたり、辛くなったりすることもあると思います。同時に先の見えない介護に不安になると思います。子供と違って、出来ることが減ってしまうことは、ごく自然なのだと思います。それが、『あたりまえ』と思うと気持ち的にも少し楽になるかもしれません



介護サービスの上手な使い方②～何が大変？～

施設やケアマネージャーに伝えるにあたり、具体的に家族にとってどんな負担があるのか以下の3つに分けて考えて見て下さい。

肉体的負担・・・要介護者を抱きかかえたり、お風呂に入れたり、オムツ交換の作業などの肉体労働で、介護側が肉体的にダメージを負う可能性があります。



時間的負担・・・家族が日常生活を送る中で、仕事や家事をこなす必要があります。忙しい日常の中で介護にさらに時間を割く事になり、時間的余裕が無くなります。

精神的負担・・・介護生活は24時間365日続き、昼夜問わず世話をしなければならぬ時もあり、ストレスを抱えることになる。さらに、要介護者が認知症の場合、意思の疎通を取ることが出来ずに精神的な負担が更に大きくなる可能性があります。



どの負担がどれくらいあるのかを、ご家族で確認してみてください。



みんなでお祝い
誕生日



ハーモニーで採れた
新鮮な野菜たち



たまには外で
女子会



七夕抽選会
何が当たったかな？

100歳おめでとうございます！



7月100歳を迎えられたお客様の、誕生日会が行われました。当日は家族様が沢山お祝いに駆けつけて下さいました。コロナという状況もあり、外での面会・写真撮影となってしまいましたが、ご本人様はとても喜んでおられました。お一人お一人に声をかけてもらえて、ここでの生活とはまた違う笑顔を見せておられました。職員お手製の大きなくす玉も、100歳のお祝いに華を添えていました。

